

令和5年5月  
秩父市教育委員会 定例会 議事録

開 会 : 令和5年5月25日(木) 午前10時00分  
閉 会 : 令和5年5月25日(木) 午前10時52分  
会 議 場 : 歴史文化伝承館5階第1会議室

出席委員 : 1番委員 松本 和雄  
2番委員 山中 直子  
3番委員 大島 隆芳  
4番委員 浅海 純一

出席者 : 教育長 前野 浩二  
事務局長 笠原 義浩  
事務局次長兼学校指導監 板倉 邦弘  
事務局次長兼文化財保護課長 堀 宏行  
教育総務課長 杉田 泰三  
学校教育課長 磯田 欣央  
保健給食課長 井上 夏美  
教育研究所長 飛川 成正  
市民スポーツ課長 原嶋 祐樹  
市民部専門員兼秩父図書館長 諸 敦夫

書 記 : 教育総務課主幹 大池 伸吾  
教育総務課主幹 中里 芳隆

## 1 開会宣言

教 育 長 : 令和5年5月教育委員会定例会の開会を宣言する。

## 2 署名委員の指名

教 育 長 : 本会議の議事録署名委員として、1番委員及び2番委員を指名する。

## 3 会議の公開

教 育 長 : 本会議は、公開とすることでよいか。  
(「異議なし」の声あり)  
異議なしと認め、公開とする。

## 4 前回会議の議事録の承認

令和5年4月26日に開会された4月秩父市教育委員会定例会議事録の朗読を事務局が行い、出席者の異議なく承認された。

## 5 報告事項

### (1) 教育長及び各委員からの報告事項

教 育 長 : 各学校では新年度が始まって1か月半が経ち、先日校長の人事評価当初面談の折りに確認したところ、どの学校も概ね順調に取り組まれていることが確認でき、引き続き生徒指導の充実、教職員の事故防止、学力向上に向けての取組、教職員の働き方改革の推進を含め、学校経営の充実を図っていただくようお願いした。

2点、報告する。

1点目、4月26日に臨時市町村教育委員会教育長会議がZoomで行われ、埼玉県教育委員会高田教育長、市町村支援部石井部長から、教職員の不祥事根絶について指導をいただいた。この件については、昨年度2月に臨時教育長会議、今年度4月には教育長研究協議会が開催され、県教育委員会と市町村教育委員会で力を合わせて粘り強く取り組んできたわけであるが、教職員事故が未だ止まらない状況で、非常事態と捉えていると話されていた。県教育委員会としてもこれまで以上に危機感を募らせ、何としても教職員事故を根絶し、県民からの信頼回復に努めていただきたいという指導を受け、校長会議で、本市及び自身の学校から絶対に不祥事を起こさないよう、一人一人の教職員に染み入る指導を行うよう指示をしたところである。

2点目、令和6年度から使用する小学校の教科用図書の採択を行う

ため、過日第15採択地区教科用図書採択協議会が開催され、7月の初旬にかけて各学校や調査員による申請のあった教科書の見本本により研究が始まった。委員の皆様には、本日見本本を持ち帰っていただき、日々ご多用のこととは思いますが、研究を進めていただきたい。

なお、7月の定例会において、本市における教科書の採択を行っていただく予定である。

1 番 委 員 : 1点、報告する。

5月16日に、羽生市産業文化ホールで行われた埼玉縣市町村教育委員会連合会の総会に参加した。

総会の後に記念講演として、中山五輪男氏に「来るべき未来のデジタル社会に向けて」という内容の講演をしていただいた。

その中で後半は、ChatGPT についての話となった。まだまだ日本語での質問が非常に少ないので、正しい情報が出てこない場合があるため、ChatGPT を使った場合には、正しいかどうかを自分で判断する必要がある、というような話であった。

だから、自分はまだ使ったこともないし使うこともないと思うが、もし使うようであれば、出てきた回答が正しくないかもしれないという前提で、自分なりに解釈する必要があると思った。それを鵜呑みにしてそのまま使用するには、何か弊害が生じるかもしれないと感じた。

ChatGPT を推進する立場の講師の方も、そのようなこと話していた。

2 番 委 員 : 2点、報告する。

1点目、最近の子どもたちの学校での様子を保護者から聞いているので、報告する。

子どもたちは、新学期の新しい学校生活にもだいぶ慣れてきたように感じる。落ち着いて学校に通っている姿を見て、ほっとしている保護者も多くいた。反面、なかなか環境になれないと心配をしている保護者は、担任の先生を通して学校にも相談されている様子で、学校と連携しながら、子どもの様子を見守っているようであった。

新学期が始まり、環境の変化も激しい4月・5月である。子どもや保護者が学校などに相談できていればいいが、そうではないときは、地域や学校で声を掛け合うなどして、見守りが大切ではないかと感じた。この時期は、学校で個人面談なども行われているようだが、学校と家庭の情報交換の場としても有意義に活用してほしいと思った。

また、多くの学校が校外学習を行ったり、修学旅行の準備をしているようであった。新型コロナウイルスも落ち着き、ようやく安心して出かけられるようになり、子どもたちも大変楽しみにしている様子とのことであった。

また、多くの保護者から子どものマスクについてのご意見が多く聞

かれたので、報告する。

コロナ禍では、マスクの着用が子どもたちにとっては日常となっていたので、今でも屋外・室内にかかわらず大人が声をかけないと、マスクを着けてしまう子どもが多くいるようであった。これからの季節は、熱中症などを心配される保護者も多く、学校の先生からも声かけをお願いしたいということであった。長いコロナ禍での生活で、マスクを着けることが日常だった子どもたちにとっては、急な生活の変化に戸惑う子も多いと思う。感染症の流行時には、マスクの着用が重要であったと自分も感じているので、マスクを否定することなく、子どもたちが安心してマスクを外せるように、指導をお願いしたい。

2点目は、5月11日に秩父地区教育委員会連合会の総会が4年ぶりに対面で行われ、参加した。

皆さんの声を聞きながらの総会は緊張でもあったが、対面での会話や討議は、やはり有意義であると感じた。これからも様々な事業を通して、秩父地区教育委員会の方々と連携をしていきたいと思った。

3 番 委 員 : まず1点、報告する。

先ほど2番委員からも報告があった、5月11日に行われた秩父地区教育委員会連合会の総会についてである。

自分も同じ意見であり、やはりパソコンの画面越しにZoom等でやるとのは違って、実際にお顔を見て、どんな立場の人が携わっているかということを感じることができて、非常に有意義であると思った。

もう1点は、感想である。

私は、花の木小学校のPTAに顧問という立場で在籍をしているが、各学校とも1年間のスケジュールがおそらくPTAに周知されて、色々な活動が進んでいるところと思うが、コロナ禍の3年間にやらなかったことを新しくやろうという動きが、花の木小学校ではある。例えば、歓送迎会、秋のバザー、ゲーム大会等をPTAが企画しているが、中々これが学校の先生方の負担にもなっているようだ。

例えば、バザーに出品する品物は、今までは担当が各家庭を回って集めていたが、今度は品物を出せる方が直接学校に持ってきて、それを学校が保管しておくという方向で話が進んでいると聞いている。これには、良い意見と悪い意見が共に出ているようであるが、PTA活動の長い歴史の中には、地域・家庭・学校が上手く連携を取ってきた背景があり、目には見えない大切なことがあったと思う。

自分も、何か前向きに色々なPTA活動を後押しできるような立場でありたいと感じている。

4 番 委 員 : 1点、報告する。

3番委員と同じ話題になってしまうが、学校行事の改善と教員の負担軽減についてである。

教育委員会の委員として色々な小・中学校教育に参加させていただくということがあると思うが、コロナ禍でそれが実現できていなかったという状況がある。今後、コロナ禍が落ち着いてきて、我々が学校と関わる機会もあると思うが、私は3番委員とは少し立場、見解が異なるところがあるかもしれないが、やはり学校の先生方の負担ということを考えていただきたいと思っている。

それぞれの学校行事について、よく取捨選択のうえ、子どものために何が良いのかをしっかりと議論し、新しい学校生活について以前と同じ形ということではなく、良いものは良い、悪いものは悪いということで、ぜひとも対応していただければ、先生方の働き方の軽減にもつながるのではないかと感じている。

前回定例会の教育長の報告の中で、先生方の長時間労働について、特に中学校の先生で基準を超えてしまっている方の人数が26.2%という話があった。これだけ声高に改善しましょうと言っている中でこの数字というのは、先生方がどうにかしようと思ってもできないような状況もあるのではないかと思う。なので、外部委託など、できるだけ先生方の負担を減らして、子どもたちと仲良く雑談ができるような時間が多く持てるように、そういう新しい学校生活の様式をそれぞれの学校で検討していただきたい。大胆にそれはやっていただければありがたいと思う。

以前は、学校に長く残ることが美德というか、それが良いという考えがあったようだ。今の学校ではそういう文化はないと思うが、ぜひ先生方の待遇改善を考えていただきたい。それが子どもたちにとって一番有効なことであるならば、そういう形でお願いしたい。

## (2) 事務局からの報告事項

事務局長：1点、報告する。

秩父市議会6月定例会の予定についてである。

秩父市議会6月定例会の会期は、来週5月31日から6月21日までの22日間で、日程は5月31日に開会し、6月6日が議案に対する質疑・議案の委員会付託、6月9日が文教福祉委員会、6月13日から15日までの3日間が市政に対する一般質問、6月21日が閉会の予定となっている。

付議する議案は、専決処分が4件、条例の一部改正が7件、条例の新規制定が2件、条例の廃止が1件、補正予算が1件の合計15件で、一般質問には13人の議員が登壇する予定である。教育委員会関係では、補正予算の中に、小中学校の学校給食費の補助に関して、現在45%相当分を補助しているが、これを50%に、本年4月に遡って5%拡充する予算を計上している。

また、議会最終日に追加議案として、大変お世話になった松本委員の任期が満了となるため、後任の教育委員の人事案件を提出する予定である。

学校指導監： 3点、報告する。

1点目、5月17日に行われた埼玉県学力・学習状況調査についてである。

この調査は、毎年小学4年生から中学3年生を対象に、学力の経年変化(学力の伸び)と学習状況について把握し、学習指導の充実を図る趣旨で毎年この時期に行われている。これまでは、いわゆる紙でのテスト(PBT)方式であったが、今回秩父市では学習用端末を使って解答する(CBT)方式を選択し、紙を使わずにテストを行った。来年度からは県内全ての学校でCBT方式となることから、秩父市ではこの方式を先行して取り入れたものである。なお、尾田蒔中学校のみ学校行事と重なったため、5月19日に実施した。

2点目、市内小・中学校の修学旅行についてである。小学校の修学旅行は、ちょうど本日西小学校・高篠小学校・影森小学校が出発しており、6月26日までの間に各校で実施予定である。5年生と合同で隔年で行っている学校もあるので、全13校ということではない。なお、目的地は、コロナ禍前に戻ってほとんどが鎌倉方面のようである。次に中学校の修学旅行は、5月31日出発の秩父第一中学校・高篠中学校に始まり、6月15日までに全8校、行き先が京都・奈良方面で、実施予定である。

3点目、令和5年度人事評価実施に伴う校長の当初面談についてである。5月23日、24日の2日間で、すべての小・中学校長と年度当初の面談を教育長と実施した。面談では、各学校長から学校経営や教職員の指導等について自己申告をしてもらい、各校における目標及び方策、目標達成に向けた手順等について確認をした。

文化財保護課長： 1点、報告する。

上吉田の塚越集落で行われた県指定無形民俗文化財「塚越の花まつり」についてである。

塚越の花まつりは、毎年5月4日の朝、集落の小学生が熊野神社を出発し、花びらを撒きながら、お釈迦様を山の上の薬師堂へお届けする祭りで、多くのカメラマンや観光客が訪れている。文化庁も注目している民俗行事であるが、集落の著しい過疎化と少子高齢化に加え、この約3年間のコロナ禍の状況もあって、その存続が懸念されていたが、5月4日に規模を縮小する形で無事に祭りを再開することができた。

現在、塚越集落には小学生がいない状況であるが、当日は他の集落や帰省した地域出身者の協力などを仰いで祭りに参加する小学生を確保していた。また、例年より全体的に開花が早い状況を受けて、花びらも

早めに摘んで確保していたとのことであった。

花まつり保存会の会長からは、「今後も変わることなく我々のお祭りが続けられるようにしたい」旨の力強い言葉もいただいている。

教育総務課長 : 2点、報告する。

1点目、全国的な調査である学校基本調査と施設台帳調査が、5月1日を基準日として行われている。学校基本調査については、5月26日に受領会が開催され、担当が出張し提出する。お手元に、学校基本調査から園児児童生徒教職員等集計表を、2枚配布した。小学生が2,622名で前年度より79名の減少、中学生が1,433名で前年度より50名の減少となっている。幼稚園は、久那幼稚園1園で、園児数は昨年と変わらず4名となっている。なお、各学校の学級数及び県教職員数については、お手元の資料を御参照いただきたい。

併せて、本年度の幼稚園・小中学校一覧を添付させていただいた。各学校の校長・教頭名や学校の所在地、電話番号等が掲載してあるので、参考にさせていただきたい。

2点目、新型コロナウイルスの感染症法上の分類が2類から5類に引き下げられたことから、飛沫感染防止対策のために設置していた事務室内の亚克力板等を、5月9日に撤去した。なお、窓口に設置されている亚克力板については、不特定多数の方がお越しになることを考慮し、全庁的に当面の間そのまま設置する予定である。

分類は5類に引き下げられたが、ウイルスがなくなるわけではないので、今後も感染状況を注視し、引き続き基本的な感染防止対策を継続しながら、日々の業務にあたりたいと考えている。

学校教育課長 : 2点、報告する。

1点目、4月27日に学童保育室の令和5年度のスタートにあたって、各学童保育室の主任に集まってお話しいただき、第1回の主任会議を行った。

会議では、令和5年度の秩父市の目指す学童保育室の運営方針や今後の会議予定と研修計画、新型コロナウイルス感染症の5類への移行に伴う対応について説明をした。また、情報交換として各主任指導員から、今後本格的に提供していくこととなる「おやつ」に関する質問や、新型コロナウイルス感染症で利用が少なかった土曜保育の勤務体制など、多数の質問があった。様々な意見を伺いながら、新型コロナウイルス感染症が保育現場に与えた影響の大きさを再認識したところである。

2点目、GIGAスクール構想におけるICT教育の支援状況である。

2023年度のICT活用目標は、「すべての教員が端末を使った授業を5時間に2回以上行うことができる」を目指している。そのため、教職員が効果的なICT環境を活用できるよう継続した情報通信技術支援員の派遣が重要となっている。

現在、児童・生徒の操作支援を目的とした学習指導員を3名雇用し、担当する学校を回っている。また、6月1日から更に1名を雇用し4名体制となる予定である。

専門的知識を有する情報通信技術支援員については、請負業者不在のため、派遣が行えていないが、7月上旬頃の各学校への配置を目途に、再入札を行う予定である。学校におけるICT教育の推進を支援するため、なるべく早期の派遣を行えるよう最善を尽くしたい。

保健給食課長 : 2点、報告する。

1点目、独立行政法人日本スポーツ振興センター災害共済加入についてである。この保険は、学校管理下での児童生徒の災害によるケガ等に対応するもので、令和4年度は発生件数344件で2,772,165円の給付があった。本年度も5月1日現在の市立小・中学校、幼稚園の在籍者4,060人分の保険料3,768,860円を納入し、加入手続を行った。

2点目、5月中における児童生徒及び教職員の感染症感染状況についてである。

昨日現在、新型コロナウイルス感染症については、中学生が4人のみと落ち着いているが、インフルエンザについては、小学生が61人、中学生が14人、教職員が1人で、小学校に関しては学級閉鎖が1学級、学年閉鎖が2学年と、一部で感染が広がっている。幸い、今のところ学級閉鎖や学年閉鎖が学校全体に広がってはいないが、引き続き注視したい。

新型コロナウイルス感染症は、5月8日から感染法上の位置付けが5類に変更となり、感染対策の考え方も自主的なものへと変わってきたが、ウイルス自体が弱体化したわけではないので、各学校・調理場では、今後も引き続き適切な感染防止対策を行っていく。

教育研究所長 : 2点、報告する。

1点目、昨年度、市内公立中学校に在籍する全中学生を対象に実施した、英語技能測定試験「英検IBA」の結果についてである。

昨年度の中学1年生(現2年生)は英検5級合格レベルに達している生徒が84%、中学2年生(現3年生)は英検4級合格レベルに達している生徒が63.4%、中学3年生(現高校1年生)は英検3級合格レベルに達している生徒が46.5%となった。今後の英語教育の充実や授業改善を推進することで、より一層の英語力向上が図れるものと考えている。今年度も、同測定試験を中学3年生は7月、中学1、2年生は11月頃に実施する予定である。

2点目、ALT通信の発行についてである。

昨年度から英語担当指導主事が中心となり、ALTを有効に活用し、市内の児童生徒の英語力の向上を図ることを目的に、ALT通信を発行



している。より内容を充実させ、より親しみやすく、取り組みやすい紙面を目指し、現在6月号を作成している。昨年度に引き続き、ALTの紹介動画の視聴や外国の生活や文化に関する英文のコーナー、その英文に関する問題をQRコードからGoogleFormを活用し解答する形式、英語を楽しむコーナーや英語検定チャレンジ問題など、豊富に掲載している。

今後も、様々な工夫を取り入れながら、児童生徒の英語力の向上を図っていく。

### (3) 補助執行に関わる報告事項

教 育 長 : 補助執行に関わる報告事項は、今回、特にない。

## 6 議案審議

教 育 長 : 議案第6号を議題とする。事務局に議案の説明を求める。

学校教育課長 : 議案第6号「秩父市障害児就学支援委員の委嘱又は任命について」の提案理由及び説明を述べる。

教 育 長 : 質問または異議がなければ、この議案を原案どおり可決することではいかか。

(「異議なし」という声あり)

異議なしと認め、議案第6号は、原案どおり可決した。

議案第7号を議題とする。事務局に議案の説明を求める。

文化財保護課長 : 議案第7号「秩父市文化財保護審議委員会委員の委嘱について」の提案理由及び説明を述べる。

教 育 長 : 質問または異議がなければ、この議案を原案どおり可決することではいかか。

(「異議なし」という声あり)

異議なしと認め、議案第7号は、原案どおり可決した。

議案第8号を議題とする。事務局に議案の説明を求める。

市民スポーツ課長 : 議案第8号「秩父市スポーツ推進審議会委員の委嘱について」の提案理由及び説明を述べる。

4 番 委 員 : 学識理事が4名いるが、柔道連盟や小体連の会長職等の立場の方ということではよろしいか。

市民スポーツ課長 : 学識理事については、柔道連盟、剣道連盟、小体連、中体連から委嘱をするものである。それぞれの団体から代表者の推薦をいただいているので、その方に委嘱したいと考えている。

4 番 委 員 : 委嘱する立場の方が限定されているという考えではよろしいか。

市民スポーツ課長 : そのとおりである。

教 育 長 : 他に質問または異議がなければ、この議案を原案どおり可決するこ

とでいかがか。

(「異議なし」という声あり)

異議なしと認め、議案第8号は、原案どおり可決した。

議案第9号を議題とする。事務局に議案の説明を求める。

秩父図書館長 : 議案第9号「秩父市図書館協議会委員の委嘱又は任命について」の提案理由及び説明を述べる。

教育長 : 質問または異議がなければ、この議案を原案どおり可決すること  
でいかがか。

(「異議なし」という声あり)

異議なしと認め、議案第9号は、原案どおり可決した。

## 7 協議事項

### (1) 後援等について

教育長 : 後援等について、説明を求める。

教育総務課長 : 別紙のとおり、7件の協議をお願いする。

教育長 : 質問がないようなので、ここで委員の皆様にお諮りするが、全ての事業について、後援等を承認すること  
でいかがか。

(「異議なし」という声あり)

それでは、今月の後援等について、ただいまのとおり決したので、事務局には、今後の処理をお願いする。

### (2) 6月教育委員会定例会の日程について

教育長 : 定例会の日程について、説明を求める。

教育総務課長 : 6月教育委員会定例会について、6月22日午後2時から本庁舎3階  
庁議室において開催することを御提案させていただく。

(「異議なし」という声あり)

教育長 : それでは、6月教育委員会定例会については、6月22日午後2時  
から、本庁舎3階庁議室にて開催する。

## 8 その他

各委員 : 特になし。

事務局 : 1点、事務連絡を申し上げる。

総合教育会議が、6月16日午後3時から、歴史文化伝承館5階第1会議室  
において開催されるので、出席をお願いする。

## 9 閉会

教 育 長 : 他に付議すべきことがなければ、本日の日程を全て終了する。  
以上をもって、秩父市教育委員会 5 月定例会を閉会する。